

報道関係者各位
プレスリリース

2025年10月20日

株式会社バニッシュ・スタンダード

『STAFF OF THE YEAR 2025』“令和のカリスマ店員”を決める接客コンテスト開催 アパレル部門の頂点はトゥモローランド 丸の内店・Nitoさん。初代物販部門グランプリはJINS エミフルMASAKI店・Mariさんに決定！

株式会社バニッシュ・スタンダード（本社：東京都渋谷区、代表取締役：小野里 寧晃）は、2025年10月9日（木）にアンミカさんをはじめとする4名を審査員として、またスペシャルアンバサダーに藤本美貴さんをお迎えし、日本一の令和のカリスマ店員を決める接客コンテスト『STAFF OF THE YEAR 2025』のファイナルステージを開催いたしました。

特設サイト：<https://soty.staff-start.com/>



<見出し>

「伝えたいのは本当に感謝の気持ちだけです」。敗者復活から大逆転の大優勝！



<本文>

5回目の開催となる『STAFF OF THE YEAR 2025』。接戦の末、全国300ブランドのアパレル店員の頂点に立ったのは、トゥモローランド 丸の内店のNitoさん。また今回より新設された物販部門ではJINS エミフルMASAKI店のMariさんがグランプリに輝きました。アパレル部門のNitoさんはRound1で一度敗退するものの、敗者復活枠で再び戦線復帰。そこからの優勝ということで、会場は大きく沸きました。

■ 敗者復活から優勝。アパレル部門グランプリはNitoさん（トゥモローランド 丸の内店）

審査員のアン ミカさんが「決めるのが苦しかった」と言うほど接戦となった決勝戦を制し、見事グランプリに輝いたトゥモローランド 丸の内店のNitoさん。ご自身も優勝は想定外だったのか、受賞後にコメントを求められると「正直なにを話すか考えていませんでしたが、自分が店頭で頑張っているだけでは成り立たなかった優勝です。伝えたいのは本当に、感謝の気持ちだけです」と、驚きながらも受賞の喜びを語りました。

また審査員を代表して壇上に上がったアン ミカさんは「涙が出て止まらないです。感動と心に勇気をいただきました。決勝は苦しくて、仲さんのチャレンジされ続ける姿勢、Nitoさんは圧倒的な心地よさ。どちらも言葉にできない感動がありました。皆さんの大ファンです。これからもお洋服と人を愛し、お洋服の魅力を伝えていってください！」と感動の様子で言葉を贈りました。

■ 今年新設の物販部門では、二大メガネブランドスタッフが激突。初代グランプリはMariさん（JINSエミフルMASAKI店）



新設された物販部門では、2名のファイナリストが1on1の接客ロールプレイングバトルで決勝戦を行いました。メガネブランド同士の対決ということで、お客様の用途や顔の形によってそれぞれの提案を展開。自身もメガネを愛用している軍地彩弓さんは「どちらの接客も買いたくなりました。私の中では同点でした」とコメント。見事初代グランプリに輝いたのはMariさん（JINSエミフルMASAKI店）。授賞式では華やかな赤の衣装に着替えたMariさんが、トロフィーと賞金50万円の目録を受け取り、大きな笑顔でステージに立っていました。

■『STAFF OF THE YEAR 2025』順位



<アパレル部門>

第1位：Nito（トゥモローランド 丸の内店）

第2位：仲（naka）（ユナイテッドアローズ 新宿店）

第3位：Yu-ta（Levis ららぽーと福岡）

第4位：リカコ（WEGO 1.3.5... 原宿店）

<物販部門>

第1位：Mariさん（JINSエミフルMASAKI店）

第2位：つなかんさん（Zoff大船ルミネウイング店）

■ 終始熱気に包まれた会場。アンミカ & 藤本美貴による開会宣言からスタート



<本文>

14名のファイナリストの入場につき、特別審査員のアンミカさんとアンバサダーの藤本美貴さんが登壇。アンミカさんは「お洋服はコミュニケーションツールだと思うんです。自分の服を見て周り気になってくれることもありますし、思いやりの表現ですね。ファイナリストの皆さんには、お客様の魅力を引き出し、自信を与える、心の目線が上がるようなお洋服と時間の提供を期待しています。ハードルあげちゃった？」とファイナリストを激励。また藤本美貴さんは、「今日ここに残られているだけですごい。悔いのないように楽しんで、最高の接客をしていただきたいとお見ます。頑張ってください！」とエールを送りました。最後に声を合わせて「開会します！」と宣言すると、会場からは大きな拍手と歓声があがりました。

■ 会話力も試される。アパレル部門、白熱のRound1、Round2。

Round1は昨年に続き、1on1の接客ロールプレイングバトル。お客様役には相席スタートさん、コットンさん、スパイクさん、そして藤本美貴さんが登場し、審査を盛り上げました。「温泉旅行を予定

している交際歴10年のカップル」、「仕事に疲れて気晴らしをしたい女性客」など細かでランダムな設定で現れるお客様に対して、ファイナリストたちは会話を楽しみながらコーディネートを提案するという、リアルな接客力が試されました。

Round2では、Round1を突破した7名と敗者復活1名の、計8名のファイナリストが90秒間のスピーチを披露。「わたしの想い」をテーマに、それぞれが販売員として大切にしていることや、接客業への熱い想いを込めたスピーチを披露しました。

■「新しいジェネレーションの接客スタイルを感じた」。若い世代を称賛



Round1とRound2の合計点で、第1位から第4位の順位が決定。敗者復活したNitoさんが1位通過という驚きの結果に、会場がどよめきました。1位と2位の最終決戦に移る前に、審査員がそれぞれコメント。なかでも印象的だったのは、4位入賞のリカコさん（WEGO1.3.5... 原宿店）と、惜しくも入賞を逃した出野杏介さん（FREAK'S STORE ららぽーと横浜店）という、若き販売員2名についての称賛の声。軍地彩弓さんは「マニュアルを破るような、新しいジェネレーションの接客を感じました。お客様と一つの大きな船に乗り込んで、一緒にお洋服を探すようなスタイルは新しい発見。最終には残れなかったが、お二人をリスペクトしたいです」と二人に賛辞を送り、アンミカさんも「できれば決勝戦に進んで欲しかった!」と名残惜しそうでした。

■ Round1で戦った2名による、大接戦の決勝戦。





決勝戦はBefore Afterバトル。服装についてのお悩みを持った2名のお客様を、ファイナリスト2名がそれぞれ大変身させるという審査です。ポイントはいかに変身したかではなく“共感力”と“提案力”。お客様の共感を呼ぶ、満足のいくコーディネートが提案できるのかが問われました。お客様のお悩みに合わせて、8分間の接客ロールプレイングを通じてコーディネート进行を提案。

最後に実際にコーディネートに身を包んだお客様が登場すると、会場からは「わあ〜」という大歓声。変身されたご本人も「こんな服が似合うとは思わなかった!」と感動し、涙ぐむ姿に胸が熱くなる場面もありました。また変身後の姿は審査員のみなさんの心にも響き、軍地彩弓さんは「ファッションには、一瞬で人を幸せにする力がある。なぜ自分がファッションをやってきたのかを改めて感じることができました。私のほうが今日参加できたことにとても感謝しています」という大きな言葉が飛び出しました。

■ 相席スタート、コットン、スパイクによるゲストトークも。「ハードクレマーな僕でもアラが見つからない接客だった」



『STAFF OF THE YEAR 2024』の楽しみの一つである、接客ロールプレイング審査のお客様役。今回も個性豊かなお客様役として審査を盛り上げてくれた、相席スタート、コットン、スパイクの3組がファイナリストたちの接客を振り返りました。

コットン西村さんは「同じショーレースに出る者として、お客様役に徹しながらも『頑張れ!』という気持ちを送っていた」と審査時の心境を告白。一方「アパレル販売員に扮する自身のネタの勉強になりました!」と相方のきょんさん。また今回が初参加となった相席スタートの山添さんは「自分は芸人としても私生活でもハードクレマーでやらせてもらっているけれど、そんな僕でも一つのアラも見つからないほど素晴らしかったです」とファイナリストたちの接客を大絶賛しました。

■ バニッシュ・スタンダード代表 小野里からのコメント



本日はお越しいただき、本当に温かい応援をくださり、誠にありがとうございました。開催5回目の今回は、これまでで最も緊張感のあったコンテストだったのではないかと感じています。観客席のみなさんも、審査員のみなさまも、ファイナリストのみなさんも泣いていて、僕自身も胸がいっぱいになっています。大きな感動を与えてくださったファイナリストの皆さんに、心から感謝です。このコンテストの開催意義は「販売員の価値向上」です。これだけの感動を与えてくださる皆さんの接客を、全国のみなさんに伝える方法はないか。そんな思いで続けてまいりましたが、ついに今回で5回目を迎えることができました。これもひとえに、皆さんの大きな支えがあったからできたことです。今日のコンテストの中でも、ファイナリストの皆さんの言葉の中に「感謝」という言葉が溢れていました。今日も店舗を守ってくださっているスタッフがいる。愛してくださるお客様がいる。スタッフさんにとって、彼らから受ける応援や愛は大きなパワーになるのだなと実感しました。この感謝の輪が循環していくことで、業界の未来は明るくなるはずです。これからも感謝を忘れずに、皆さんとご

一緒できたら幸いです。多くの感動を与えてくださったことへの大きな「ありがとう」を、閉会の言葉に返させていただきます。

「令和のカリスマ店員」を決める特別審査員



アンミカ

モデル・タレント

1993年パリコレ初参加後、モデル業以外でも、MBS【サタデーブラス】、NHKラジオ【アンミカ Teen-ager倶楽部】などでMCを多数務め、テレビ、ラジオ、歌手、ドラマ・映画、舞台で俳優活動、CM出演など幅広く活躍。

2012年ユニバーサルからCMカバーアルバム【Bitter sweet memories】を発売。2013年には伝統あるグレンミラーオーケストラに参加し東京・名古屋公演で歌声を披露。2023年【シンデレラストーリー】にて、魔法使い役でミュージカル初出演。

今年は、フジテレビ10月期水10ドラマ『もしもこの世が舞台なら、楽屋はどこにあるのだろう』にて、三谷脚本作品にダンサー・パトラ鈴木役で初参加となり大注目。

「野菜ソムリエ」「漢方養生指導士」「日本化粧品検定1級」など20以上の資格を活かし、化粧品、洋服、ジュエリーなどをプロデュース。【通販の女王】の異名を持つ。

ポジティブな生き方が共感呼び【ポジティブカレンダー】【ポジティブ手帳】など、15冊以上の著書を発売。

韓国観光名誉広報大使、初代大阪観光大使、神都高千穂観光大使、大阪来てな大使、2025年関西大阪万博ヘルスパビリオンアンバサダーなど数々のアンバサダーを務め、過去には阪南大学の特任教授も務める。

数々の人気ランキングで上位を占め、多くの世代から支持を得ている。

今年、音楽プロジェクト「ALKAMIRE」が始動し、デビュー曲「Love Everlasting」が世界配信中。



peco

タレント・ブランドプロデューサー。1995年6月30生まれ、大阪府出身。

原宿系ファッションのカリスマ読者モデルとして10代を中心に絶大な人気を集め、パートナーのryuchellとバラエティ番組やTVCMに多数出演。

一児の母となった現在は育児や生活の様子を投稿したSNSが人気。

2023年に自身がデザイナー兼プロデューサーを務めるファッションブランド「Tostalgic Clothing」を立ち上げた。

2024年には初のエッセイ「My Life」(祥伝社)を出版し、4万部を超えるヒット作品となっている。



秋山 恵倭子

株式会社BRUSH代表

セリーヌ、ジョルジオ・アルマーニ、プラダ、ティファニーにおいて、店長、スーパーバイザー、リージョナルディレクターを経験。常にトップセールスとして走り続けるとともに、売上を生み出すチームと店舗の育成に取り組み、マネジメントの経験を積み重ねてきた実績を持つ。

“店舗運営を活性化させる”メソッドを武器に、2015年BRUSHを設立。

ファッションで磨かれた感性とビジネスを成功に導くメソッドには定評があり、講演、トレーニング、コンサルティングの依頼が後を絶たない。販売の尊さを語ることで販売員に勇気を与え、“ロジックとパッション”の両軸から企業の成長をサポートしている。



軍地彩弓

編集者/ファッション・クリエイティブ・ディレクター

講談社にて『ViVi』『GLAMOROUS』の編集に携わり、コンデナスト・ジャパンでは『VOGUE GIRL』を創刊から牽引。2014年に独立し、株式会社gumi-gumiを設立。

雑誌の枠を超え、ドラマ『ファーストクラス』やNetflix『Followers』のファッション監修、企業コンサルティング、TVコメンテーターとしても幅広く活躍。経産省の専門委員などを歴任し、2025年7月より内閣府クールジャパン官民連携プラットフォーム・

エグゼクティブディレクターを務める。

「STAFF OF THE YEAR 2025」 スペシャルアンバサダー



藤本美貴

歌手、タレント。1985年2月26日生まれ、北海道滝川市出身。
2002年3月、1stシングル「会えない長い日曜日」でソロデビュー。
2009年にお笑いコンビ・品川庄司の庄司智春と入籍。12年3月に第1子、15年8月に第2子、20年1月に第3子を出産している。
第9回ベストマザー賞2016「芸能部門」受賞、パートナーオブザイヤー2018 受賞。
第36回 日本 ジュエリー ベスト ドレッサー賞 特別賞 ベストパートナー部門受賞。
YouTubeチャンネル「ハロー!ミキティ」100万登録を達成。

お客様役にスペシャルゲストの出演決定！



相席スタート

2013年に山崎ケイ(写真左)・山添寛(写真右)による男女コンビ相席スタートを結成。
M-1グランプリ2016年ファイナリスト。漫才だけではなくコントにも定評があり、日本各地の劇場に多数出演。
2歳の娘を育てる良い女キャラの山崎とクズ芸人山添の融合で、コンビとしても新たな一面を見せて

いる。

山崎はニッポン放送「ナイツザ・ラジオショー」（毎週火曜パートナー）、山添はラジオ大阪「サクラバシ919」（毎週火曜パーソナリティ）



コットン

東京NSC17期生の西村真二ときょんが2012年にコンビ「ラフレラン」を結成。
2019年にNHK新人お笑い大賞で優勝。「ABCお笑いグランプリ」4年連続決勝進出を果たす。2021年

にはコンビ名を「コットン」に変更。2022年には「キングオブコント」で準優勝した。TBS系バラエティー番組「ラヴィット」でレギュラーに選ばれるなど活躍中。



スパイク

2008年にコンビを結成。

2011年10月にコント番組「パワー☆プリン」（TBS系）のレギュラーに選出。

2018年8月には吉本坂46のメンバーに2人そろって選ばれ、小川は1stシングルでトレンドイエージェル斎藤とともにダブルセンターを務めた。

「女芸人No.1決定戦 THE W」には4年連続で決勝

に進出し、2023年大会では第3位に輝いた。

劇場やテレビをはじめ幅広いメディアで活躍しており、近年はYouTube「スパイクチャンネル」も精力的に更新している。

スタッフDXアプリケーションサービス「STAFF START」について

「STAFF START」は、店舗スタッフによる「店舗」と「EC」の接客を支援し、売り上げ最大化を実現するスタッフDXサービスです。

店舗スタッフが商品のスタイリングやレビューを自社EC・SNSに投稿できるオンライン接客機能に加え、オフライン（店舗）では、お客様の店舗・EC双方の購買・行動データをAI分析し、その情報を把握した上で店舗スタッフがお客様対応できる「オムニチャネル接客」を実現し、お客様一人ひとりに寄り添った豊かな体験を提供することが可能です。

ご利用いただいているブランド数は3,000を超え、アパレルや化粧品、家具・家電、雑貨、食品、サービスなど多様な業種・業界に広がっており、流通経由売上（※）は、2,091億円を達成しました。

※流通経由売上：各社ECサイトにおいて、STAFF STARTで投稿したコンテンツ経由で購入された売上。複数のコンテンツを経由した場合は最後に見たコンテンツのみを計上した総額。

ファンコマースプラットフォーム「FANBASSADOR」について

「FANBASSADOR」は、企業が顧客やOB・OG（アルムナイ）など、その企業が好きな人＝“ファン”と繋がり、「ファンバサダー（Fan+Ambassador）」としてECの共創やスポット雇用を可能にするサービスです。企業・ブランドのファンを集めるUGC機能「キュレーション」は、Instagram投稿をハッシュタグ検索し、ユーザーへの自社ECサイトへの掲載依頼や投稿商品の紐付け、掲載作業、効果測定まで行えます。

サービス導入に関する問い合わせ

https://www.staff-start.com/contact.html?utm_source=press&utm_medium=pr&utm_campaign=251020soty

担当：前田

株式会社バニッシュ・スタンダード

本社所在地：東京都渋谷区神宮前1-8-14

代表取締役：小野里 寧晃

事業内容：「STAFF START」「LINE STAFF START」「FANBASSADOR」の開発、運用

URL：<https://www.v-standard.com/>

STAFF START：<https://www.staff-start.com/>

LINE STAFF START：<https://www.staff-start.com/line-staffstart/>